

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎えるにあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。

日本経済は昨年来、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、経済活動及び社会生活などあらゆる面で大きな影響を受け、未だ先行き不透明な局面に立たされております。

我々運送業界も例外ではなく、貨物輸送量の減少により運送収入は大幅に減少し、適正な運賃収受も非常に厳しい状況に直面しています。

このような状況のもとで、トラック運送業界がドライバーの労働条件を改善し、トラック運送事業がその機能を持続的に維持しながら、国民生活と経済活動を支えていくため、一昨年、貨物自動車運送事業法の一部改正が行われ、とりわけ昨年4月には「標準的な運賃」の告示制度が導入されたところであります。

こうした中、新型コロナウイルスの影響により荷主企業の経営環境は悪化の一途をたどり、運賃交渉も困難を極めております。しかし、荷主企業に対しては標準的な運賃こそ本来あるべき水準であることに理解を得るため、昨年後半から、全日本トラック協会と連携を取りながら、適正な運賃収受に向け周知徹底を図って参りました。

ただ、この標準的な運賃制度は、令和5年度末までの時限措置であります。この期限までにドライバーの労働環境及び待遇改善を図り、物流の担い手であるドライバー不足を解消することが急務となっており、我々は早急に運賃交渉のテーブルに着く必要があります。

滋賀県トラック協会は昨年、働き方改革実現に向けた取組み、人材確保対策、道路問題等々の諸課題に向けた事業を標榜し、また「安全」と「人」をキーワードに事業の展開を図るべく計画、立案したところでありますが、コロナ禍は収束することなく一年が経過し、大半の事業が消化できないまま年を越すに至りました。

しかしながら、我々はこのような厳しい状況下にあっても、また、如何なることがあろうとも怯むことなく前進しなければなりません。

滋賀県トラック協会は、本年度も「継続・刷新・結束」をコンセプトに、そこに「輪」を加え、この難局を会員全員がお互いにしっかりと手を携え「輪」となって乗り越えたいと思います。

加えて本年度も「安全」と「人」を基軸に「運賃」を掴む。そして「コロナ越え」を目指し、歩を進めていきたいと考えます。

今年も、会員各位の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

令和3年 元旦

一般社団法人 滋賀県トラック協会
会 長 田 中 亨